

第5章 本人アンケート調査 調査結果

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

介護分野に係る特定技能外国人の就労状況や満足度、今後の希望等を把握し、今後の施策検討のための基礎資料を収集する。

(2) 調査対象

令和3年9月1日時点で、「介護分野における特定技能協議会」（以下「協議会」という。）に入会している受入機関（医療・介護事業者、669 事業者）で就労する特定技能外国人

(3) 調査方法

WEB 調査（調査票の URL を記載した依頼状を特定技能外国人受入れ事業所 998 か所に郵送し、特定技能外国人本人に配付していただいた。特定技能外国人本人には、WEB でご回答いただいた）

(4) 調査実施期間

令和3年11月15日（月）～令和3年12月10日（金）

調査票では、令和3年11月30日（火）を締切としていたが、回収率向上のため、回収期間を延長した。

(5) 調査項目

- ・プロフィール
- ・日本語や介護についての理解度と支援
- ・仕事の満足度
- ・生活する上での困りごと
- ・今後の希望

(6) 回収結果

- ・配付数：1,894 件
- ・有効回収数：514 件（有効回収率 27.1%）

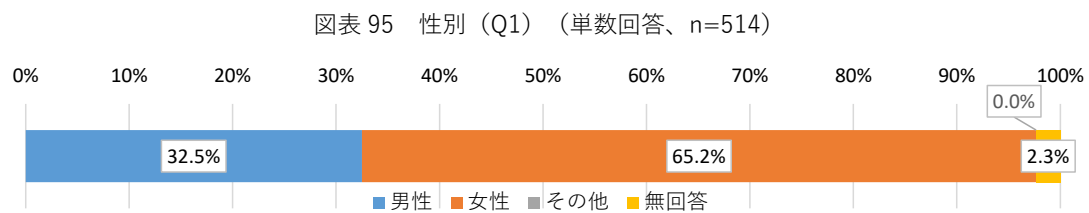
2. 調査結果

(1) 特定技能外国人本人の属性

ここでは、本調査に回答のあった特定技能外国人 514 人の属性（プロフィール）について述べる。

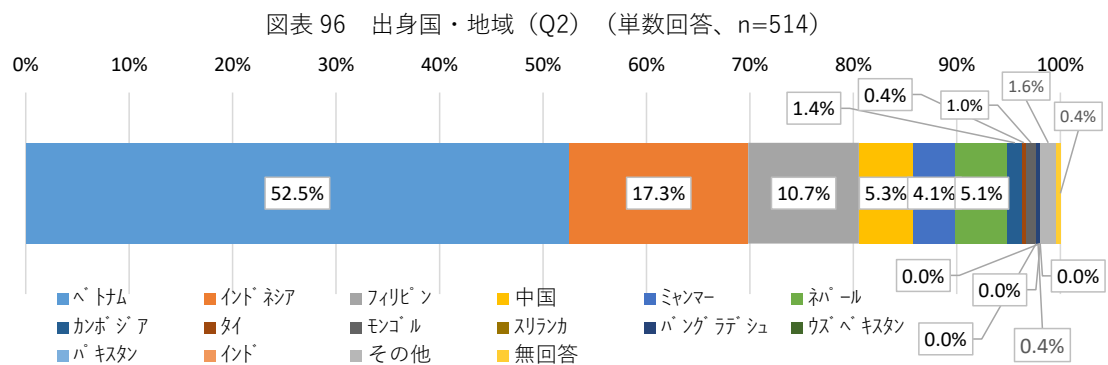
① 性別 (Q1)

性別は、男性が 32.5%、女性が 65.2%だった。



② 出身国・地域 (Q2)

出身国・地域は、「ベトナム」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「インドネシア」が 17.3%だった。



③ 年齢 (Q3)

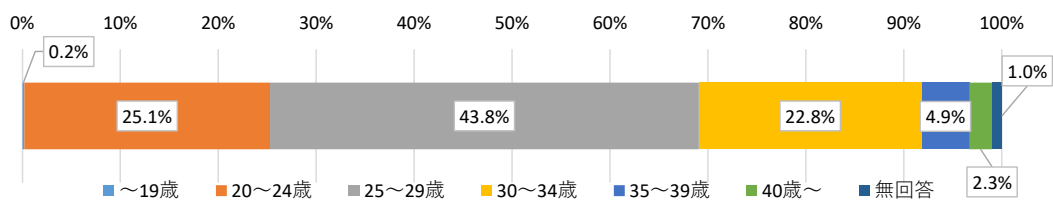
年齢は、平均 27.7 歳だった。

また、分布をみると、「25～29 歳」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「20～24 歳」が 25.1%だった。

図表 97 年齢 (Q3) (数量回答、n=509)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
年齢	509	27.7	4.7	27.0	50.0	19.0

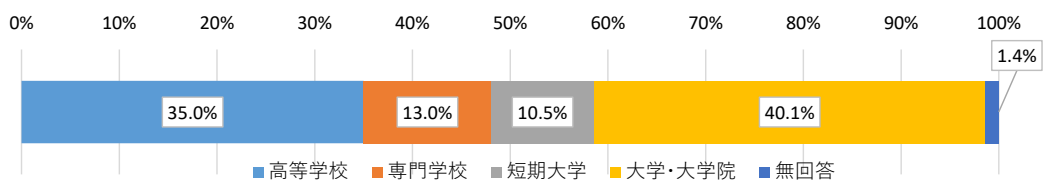
図表 98 年齢 (Q3) (分布) (単数回答、n=514)



④ 学歴 (Q10-1)

来日前に最後に行った学校は、「大学・大学院」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「高等学校」が 35.0%だった。

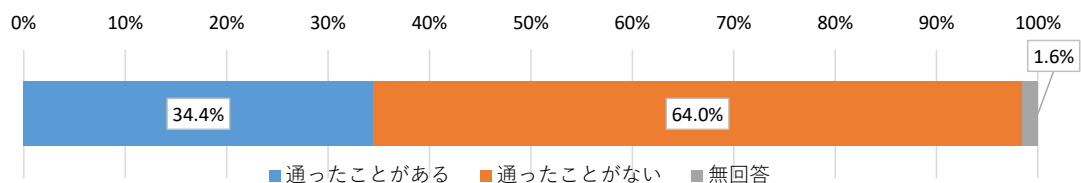
図表 99 学歴 (Q10-1) (単数回答、n=514)



⑤ 来日前に看護や介護を学んだ経験 (Q10-2)

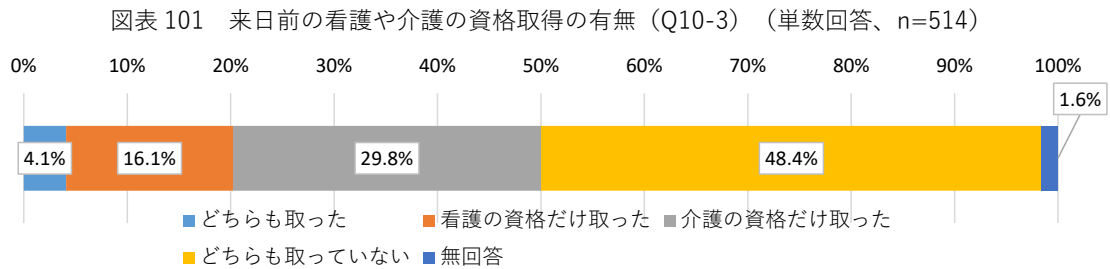
来日前に、看護や介護の勉強をしたり資格をとるための学校に「通ったことがある」が 34.4%、「通ったことがない」が 64.0%だった。

図表 100 来日前に看護や介護を学んだ経験 (Q10-2) (単数回答、n=514)



⑥ 来日前の看護や介護の資格取得の有無 (Q10-3)

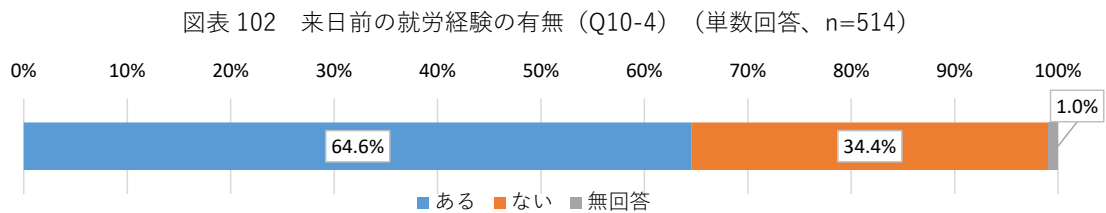
来日前に、看護や介護の資格を「どちらも取っていない」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「介護の資格だけ取った」が 29.8%だった。



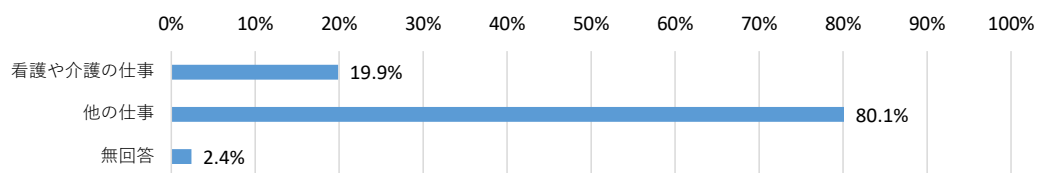
⑦ 来日前の就労経験の有無 (Q10-4)

来日前の就労経験については、「ある」が 64.6%、「ない」が 34.4%だった。

また、働いたことが「ある」と回答した 332 人に対して、来日前の就労内容について尋ねたところ、看護や介護以外の「他の仕事」が 80.1%、「看護や介護の仕事」が 19.9%だった。



図表 103 来日前の就労内容 (Q10-4) (複数回答、n=332)

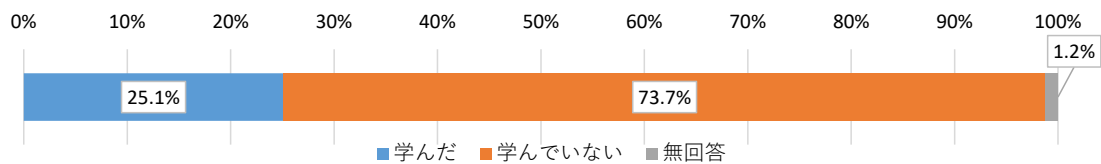


⑧ 来日前に日本の介護を学んだ経験 (Q11、SQ11-1)

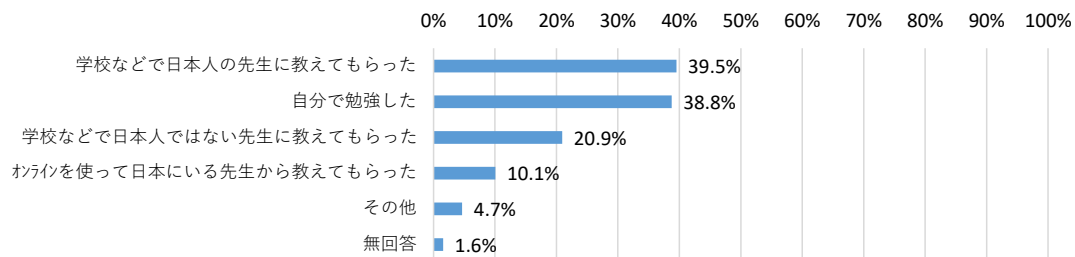
来日前に、日本の介護を学んだ経験について尋ねたところ、「学んだ」が 25.1%、「学んでいない」が 73.7%だった。

また、日本の介護を「学んだ」と回答した 129 人に対して、来日前に日本の介護を学んだ内容について尋ねたところ、「学校などで日本人の先生に教えてもらった」が 39.5%と最も高く、次いで「自分で勉強した」が 38.8%だった。

図表 104 来日前に日本の介護を学んだ経験 (Q11) (単数回答、n=514)



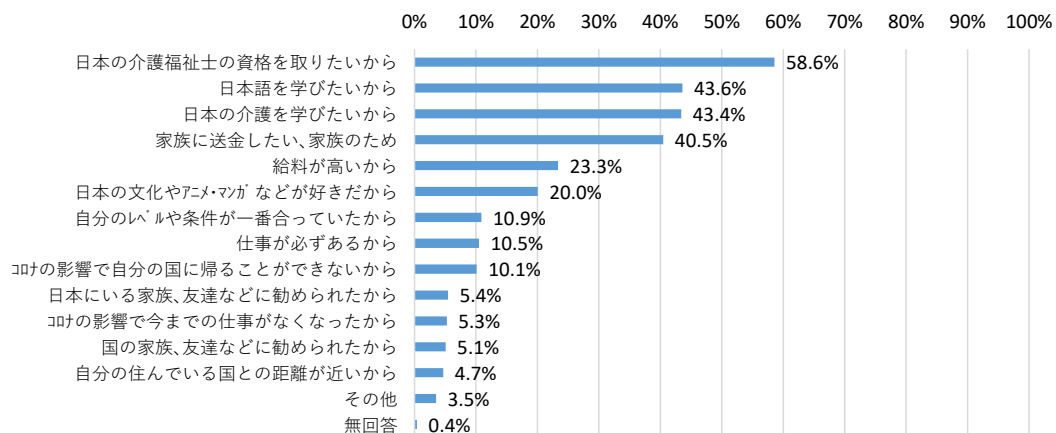
図表 105 来日前に日本の介護を学んだ内容 (SQ11-1) (複数回答、n=129)



⑨ 日本で介護の仕事をしたと思った理由 (Q12)

日本で介護の仕事をしたと思った理由を尋ねたところ、「日本の介護福祉士の資格を取りたいから」が 58.6%と最も高く、次いで「日本語を学びたいから」が 43.6%だった。

図表 106 日本で介護の仕事をしたと思った理由 (Q12) (複数回答、n=514)

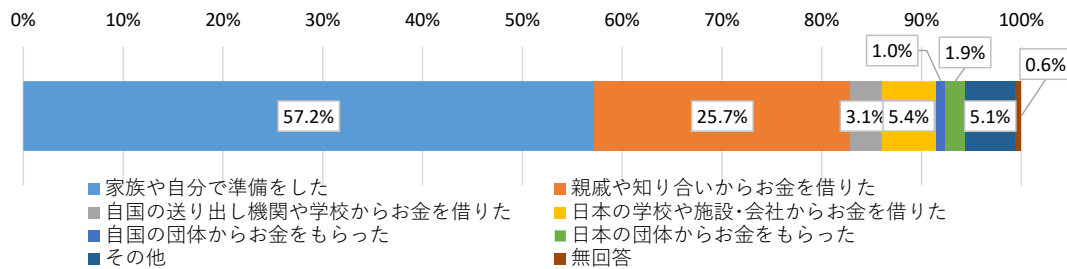


⑩ 日本に来るための資金の準備 (Q13、SQ13-1)

日本に来るための資金の準備については、「家族や自分で準備をした」が57.2%と最も高く、次いで「親戚や知り合いからお金を借りた」が25.7%だった。

また、準備した金額は、平均 79.9 万円だった。分布をみると、「51～100 万円」の割合が35.0%と最も高く、次いで「11～50 万円」が20.8%だった。

図表 107 日本に来るための資金の準備 (Q13) (単数回答、n=514)



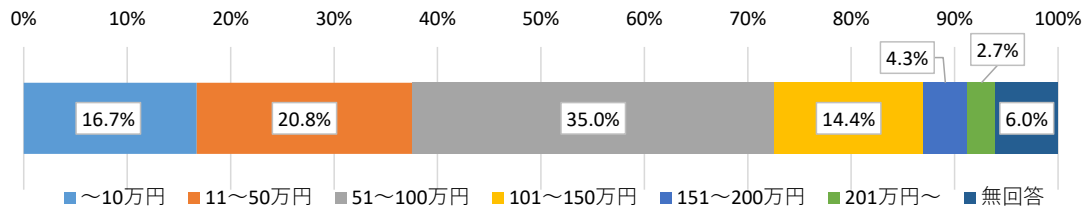
図表 108 出身国・地域別 日本に来るための資金の準備 (Q13) (単数回答、n=514)

		合計	来日するための資金調達方法							その他	無回答
			家族や自分で準備をした (お金を借りていない)	親せきや知り合いからお金を借りた	自分の国の送付機関や学校からお金を借りた	日本の学校や施設・会社からお金を借りた	自分の国の団体からお金を借りた	日本の団体からお金をもらった	その他		
	全体	514	294	132	16	28	5	10	26	3	
		100.0%	57.2%	25.7%	3.1%	5.4%	1.0%	1.9%	5.1%	0.6%	
国・地域	ベトナム	270	125	97	11	11	3	3	19	1	
		100.0%	46.3%	35.9%	4.1%	4.1%	1.1%	1.1%	7.0%	0.4%	
	インドネシア	89	59	9	3	13	2	0	3	0	
		100.0%	66.3%	10.1%	3.4%	14.6%	2.2%	0.0%	3.4%	0.0%	
	フィリピン	55	34	10	2	2	0	4	3	0	
		100.0%	61.8%	18.2%	3.6%	3.6%	0.0%	7.3%	5.5%	0.0%	
	中国	27	19	7	0	1	0	0	0	0	
		100.0%	70.4%	25.9%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	ミャンマー	21	16	5	0	0	0	0	0	0	
		100.0%	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	ネパール	26	25	1	0	0	0	0	0	0	
		100.0%	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	カンボジア	7	4	0	0	0	0	2	1	0	
		100.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	
	タイ	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
モンゴル	5	2	2	0	1	0	0	0	0		
	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
バングラデシュ	2	2	0	0	0	0	0	0	0		
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
その他	8	7	0	0	0	0	1	0	0		
	100.0%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%		
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	2		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

図表 109 日本に来るために準備した金額（万円）（SQ13-1）（数量回答、n=483）

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
準備した金額	483	79.9	67.4	80.0	500.0	0.0

図表 110 日本に来るために準備した金額（分布）（SQ13-1）（単数回答、n=514）



図表 111 「特定技能」ビザ取得前（Q6）の活動別 日本に来るための資金の準備（SQ13-1）（単数回答、n=514）

		合計	SQ13-1 日本にくるために準備したお金の金額						無回答
			10万円以下	11～50万円	51～100万円	101～150万円	151～200万円	201万円以上	
全体		514	86	107	180	74	22	14	31
		100.0%	16.7%	20.8%	35.0%	14.4%	4.3%	2.7%	6.0%
Q6「特定技能」ビザ取得前の活動	日本でEPA介護福祉士候補者として働いていた	49	36	9	1	0	0	0	3
		100.0%	73.5%	18.4%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%
	日本で技能実習生として介護の仕事の実習をしていた	30	4	7	15	3	0	0	1
		100.0%	13.3%	23.3%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%
	日本で技能実習生として介護ではない仕事の実習をしていた	146	12	22	85	21	1	0	5
		100.0%	8.2%	15.1%	58.2%	14.4%	0.7%	0.0%	3.4%
	日本でそのほかの仕事をしていた	43	6	9	19	5	2	1	1
		100.0%	14.0%	20.9%	44.2%	11.6%	4.7%	2.3%	2.3%
	日本の日本語学校で勉強していた	151	17	43	38	28	9	4	12
	100.0%	11.3%	28.5%	25.2%	18.5%	6.0%	2.6%	7.9%	
日本の専門学校や短大・大学で勉強していた	63	3	4	18	16	10	9	3	
	100.0%	4.8%	6.3%	28.6%	25.4%	15.9%	14.3%	4.8%	
出身国（自分の国）にいた	16	5	9	0	0	0	0	2	
	100.0%	31.3%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
そのほか	14	3	4	4	1	0	0	2	
	100.0%	21.4%	28.6%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	

⑪ 日本での居住期間 (Q4-1)

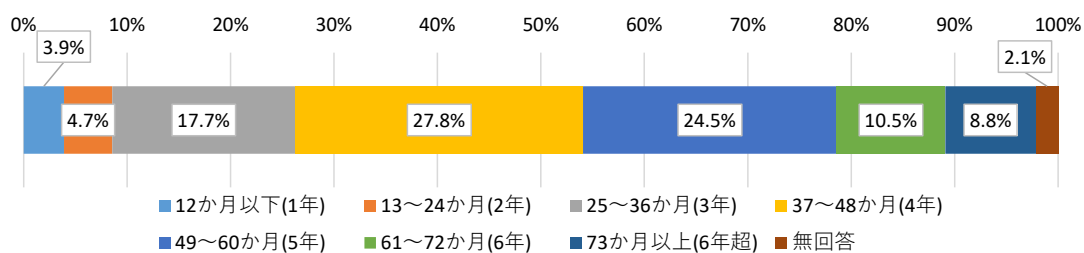
日本での居住期間は、平均46.7か月だった。また、分布をみると、「37～48か月(4年)」の割合が27.8%と最も高く、次いで「49～60か月(5年)」が24.5%だった。

図表 112 日本での居住期間 (か月) (Q4-1) (数量回答、n=503)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
日本での居住期間 (月)	503	46.7	18.7	47.0	139.0	4.0

(注) ここでは居住開始年月から調査時点 (令和 3 年 10 月) の期間を「就労期間」としている。

図表 113 日本での居住期間 (か月) (Q4-1) (単数回答、n=514)



⑫ 現在の職場での就労期間 (Q4-2)

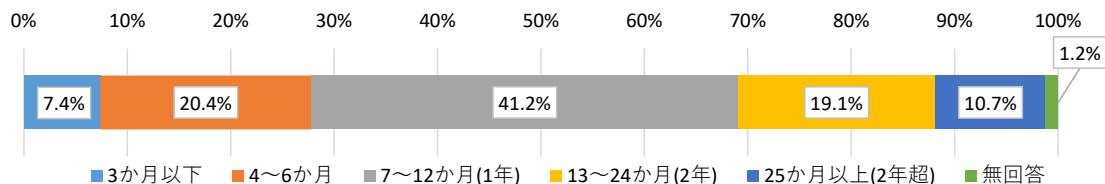
現在の職場での就労期間は、平均 12.9 か月だった。また、分布をみると、「7～12 か月(1年)」の割合が41.2%と最も高く、次いで「4～6か月」が20.4%だった。

図表 114 現在の職場での就労期間 (か月) (Q4-2) (数量回答、n=508)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
現在の職場での就労期間 (月)	508	12.9	12.9	9.0	83.0	0.0

(注) ここでは就労開始年月から調査時点 (令和 3 年 10 月) の期間を「就労期間」としている。

図表 115 現在の職場での就労期間 (か月) (Q4-2) (単数回答、n=514)



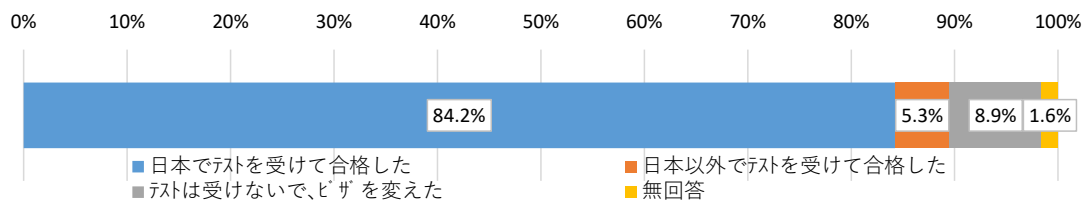
(2) 「特定技能」ビザ取得までの経緯

① 「特定技能」ビザの取得方法 (Q5、SQ5-1)

i. 「特定技能」ビザの取得方法 (Q5)

「特定技能」ビザの取得方法は、「日本で特定技能のテストを受けて合格した」が84.2%と最も高く、次いで「特定技能のテストは受けなくて、ビザを変えた」が8.9%だった。

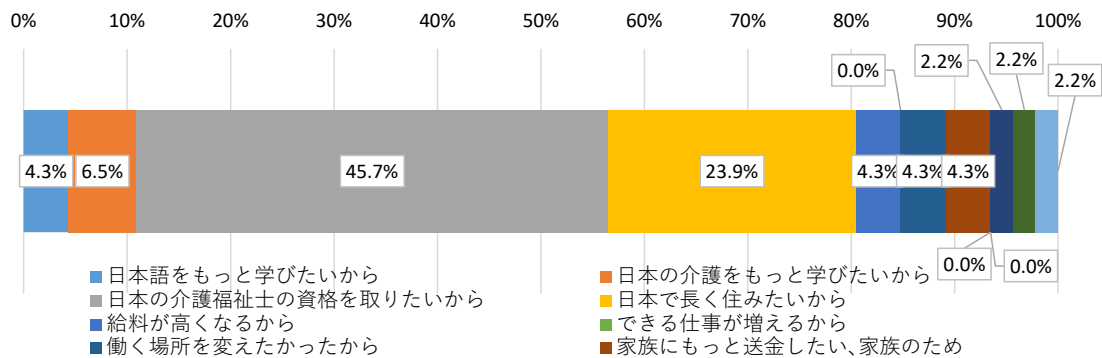
図表 116 「特定技能」ビザの取得方法 (Q5) (単数回答、n=514)



ii. 「特定技能」ビザに変更した理由 (Q5-1)

「特定技能のテストは受けなくて、ビザを変えた」と回答した46人にその理由を尋ねたところ、「日本の介護福祉士の資格を取りたいから」が45.7%と最も高く、次いで「日本で長く住みたいから」が23.9%だった。

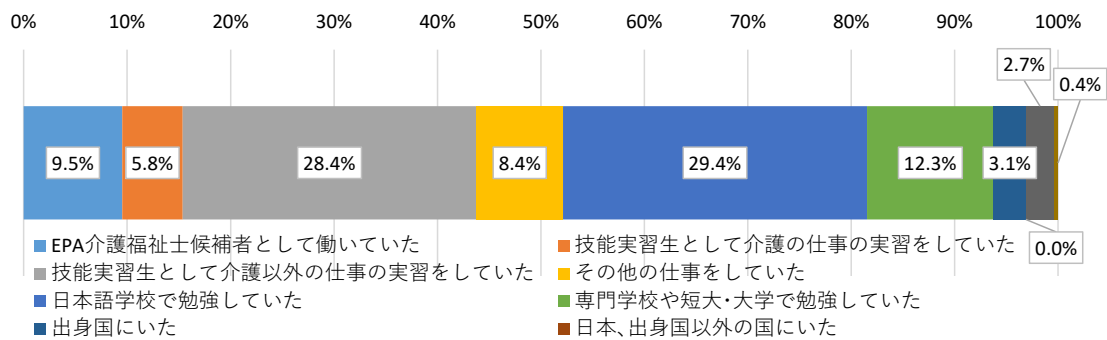
図表 117 「特定技能」ビザに変更した理由 (SQ5-1) (単数回答、n=46)



② 「特定技能」ビザ取得前の活動 (Q6)

「特定技能」ビザを取得する前は何をしていたかを尋ねたところ、「日本語学校で勉強していた」が 29.4%と最も高く、次いで「技能実習生として介護以外の仕事の実習をしていた」が 28.4%だった。

図表 118 「特定技能」ビザ取得前の活動 (Q6) (単数回答、n=514)

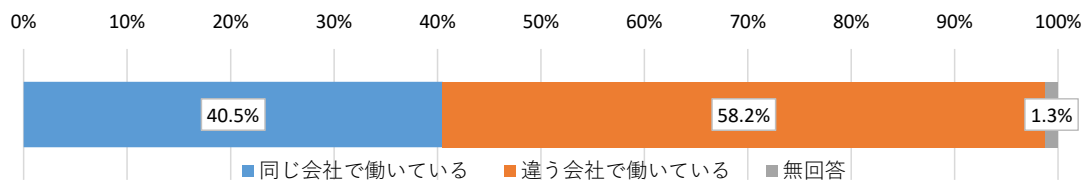


③ 在留資格変更前後における職場や仕事内容の変化

i. 在留資格変更前後における職場の変更 (Q7)

「特定技能」ビザ取得前に、日本で「EPA 介護福祉士候補者として働いていた人」(49人)、あるいは「技能実習生として介護の仕事の実習をしていた人」(30人)、計 79 人に対して、EPA 介護福祉士候補者あるいは技能実習生だった時と同じ会社(職場)で働いているかを尋ねたところ、「違う会社で働いている」が 58.2%、「同じ会社で働いている」が 40.5%だった。

図表 119 在留資格変更前後における職場の変更 (Q7) (単数回答、n=79)

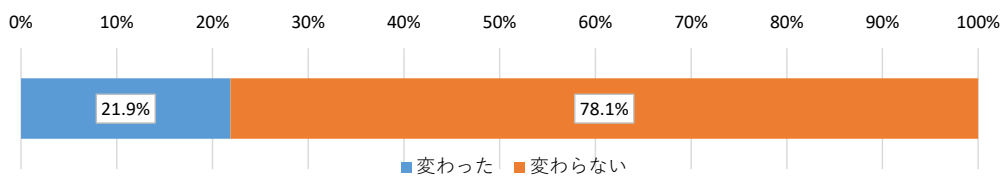


ii. 在留資格変更前後における仕事内容の変化 (SQ7-1、SQ7-2)

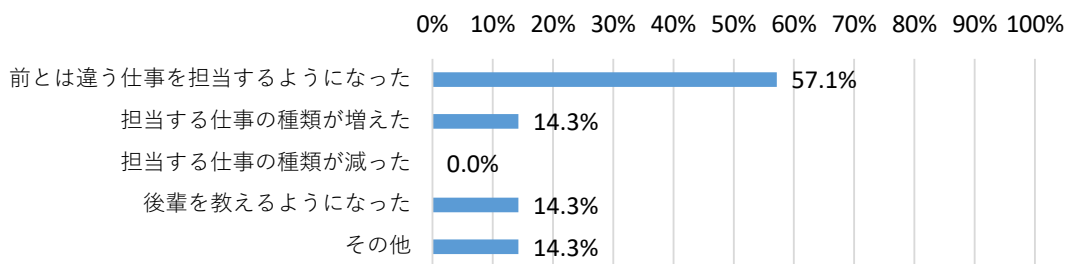
「同じ会社（職場）で働いている」と回答した 32 人に、仕事内容の変化を尋ねたところ、「変わった」が 21.9%（7 件）、「変わらない」が 78.1%（25 件）だった。

また、仕事の内容が「変わった」と回答した 7 人に、どのように変化したかを尋ねたところ、「前とは違う仕事を担当するようになった」が 57.1%（4 件）と最も高く、次いで「担当する仕事の種類が増えた」、「後輩を教えるようになった」、「その他」がそれぞれ 14.3%（1 件）だった。

図表 120 在留資格変更前後における仕事内容の変化の有無 (SQ7-1) (単数回答、n=32)



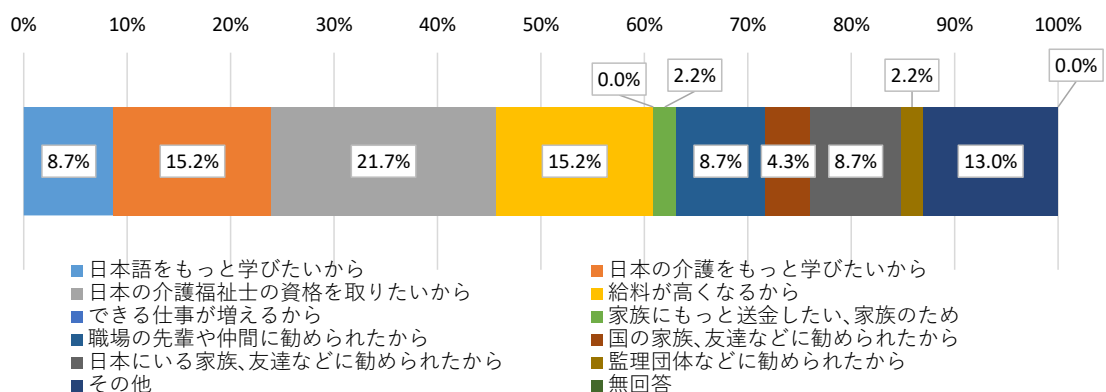
図表 121 在留資格変更前後で仕事内容がどのように変化したか (SQ7-2) (複数回答、n=7)



iii. 在留資格変更前後で違う会社（職場）で働いている理由 (SQ7-3)

「違う会社（職場）で働いている（会社・職場を変えた）」と回答した 46 人にその理由を尋ねたところ、「日本の介護福祉士の資格を取りたいから」が 21.7%と最も高く、次いで「日本の介護をもっと学びたいから」と「給料が高くなるから」がともに 15.2%だった。

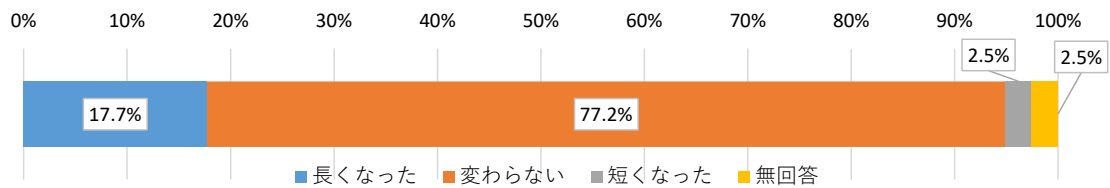
図表 122 在留資格変更前後で会社（職場）を変えた理由 (SQ7-3) (単数回答、n=46)



④ 在留資格変更前後における労働時間の変化 (Q8)

「特定技能」ビザ取得前に、日本で「EPA 介護福祉士候補者として働いていた人」(49人)、あるいは「技能実習生として介護の仕事の実習をしていた人」(30人)、計79人に対して、労働時間の変化を尋ねたところ、「長くなった」が17.7%、「変わらない」が77.2%、「短くなった」が2.5%、「無回答」が2.5%だった。

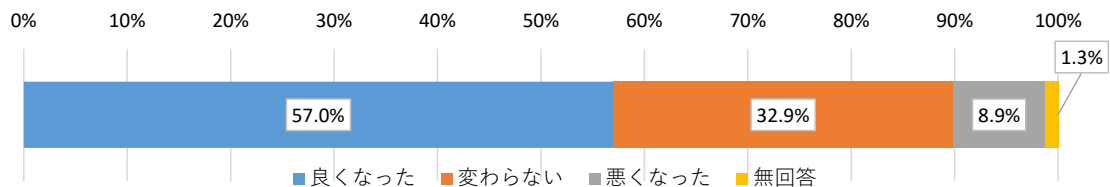
図表 123 在留資格変更前後における労働時間の変化 (Q8) (単数回答、n=79)



⑤ 在留資格変更前後における給料・手当などの変化 (Q9)

「特定技能」ビザ取得前に、日本で「EPA 介護福祉士候補者として働いていた人」(49人)、あるいは「技能実習生として介護の仕事の実習をしていた人」(30人)、計79人に対して、「特定技能」ビザ取得後の給料・手当の変化を尋ねたところ、「良くなった」が57.0%、「変わらない」が32.9%、「悪くなった」が8.9%、「無回答」が1.3%だった。

図表 124 在留資格変更前後における給料・手当などの変化 (Q9) (単数回答、n=79)

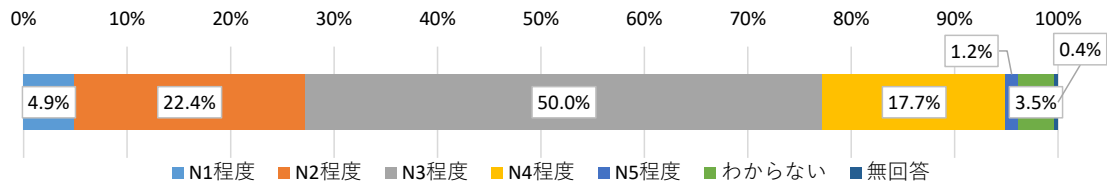


(3) 日本語や介護の学習

① 現在の日本語能力 (Q14)

現在の日本語能力は、「N3 程度」が 50.0%と最も高く、次いで「N2 程度」が 22.4%だった。

図表 125 現在の日本語能力 (Q14) (単数回答、n=514)

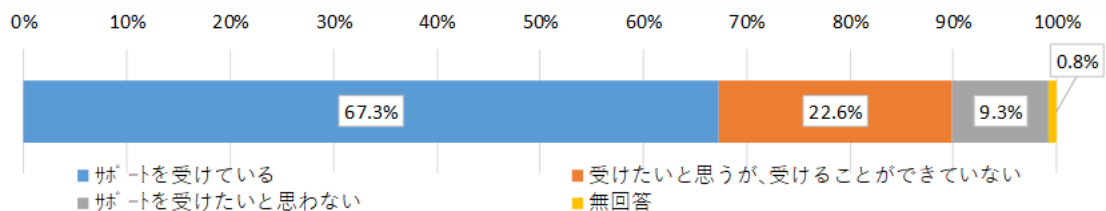


② 日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート (Q15、SQ15-1)

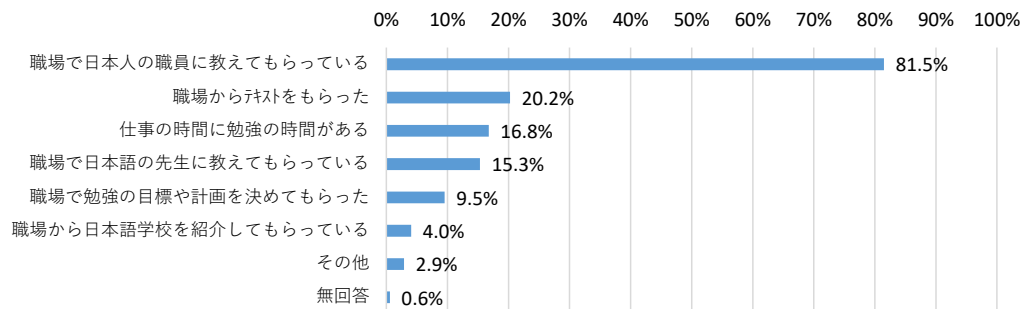
日本語の勉強について、現在の職場からサポートを受けているかどうかを尋ねたところ、「サポートを受けている」が 67.3%、「受けたいと思うが、受けることができていない」が 22.6%、「サポートを受けたいと思わない」が 9.3%だった。

また、「サポートを受けている」と回答した 346 人に対して、日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート内容を尋ねたところ、「職場で日本人の職員に教えてもらっている」が 81.5%と最も高く、次いで「職場からテキストをもらった」が 20.2%だった。

図表 126 日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート (Q15) (単数回答、n=514)



図表 127 日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート内容 (SQ15-1) (複数回答、n=346)

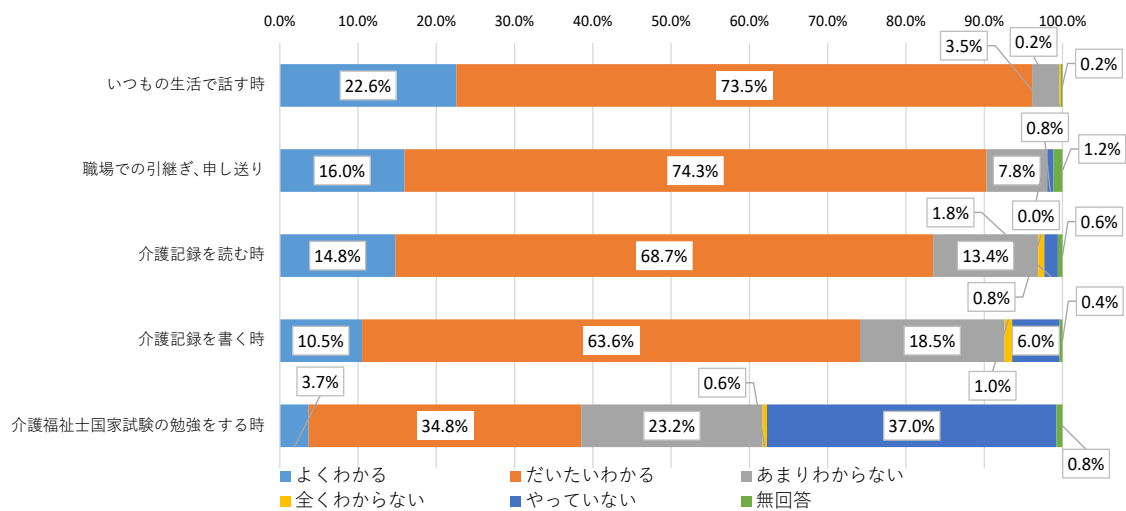


③ 場面別 日本語の理解度 (Q16)

場面別に日本語の理解度を尋ねたところ、「だいたいわかる」と回答した人が、いつもの生活で話すときでは73.5%、職場での引継ぎ、申し送りでは74.3%、介護記録を読む時では68.7%、介護記録を書く時では63.6%とそれぞれ最も高かった。

介護福祉士国家試験の勉強をするときについては、「やっていない」が37.0%と最も高く、次いで「だいたいわかる」が34.8%だった。

図表 128 場面別 日本語の理解度 (Q16) (各場面について単数回答、n=514)

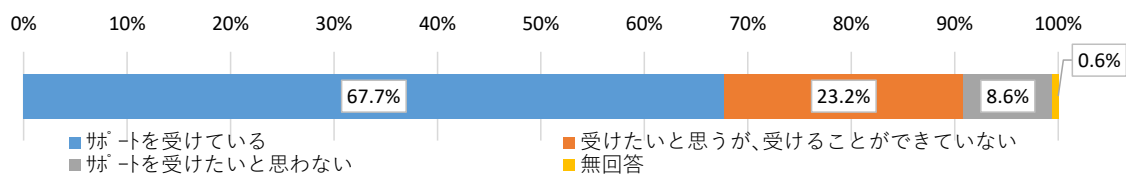


④ 介護の勉強に関する現在の職場からのサポート (Q17)

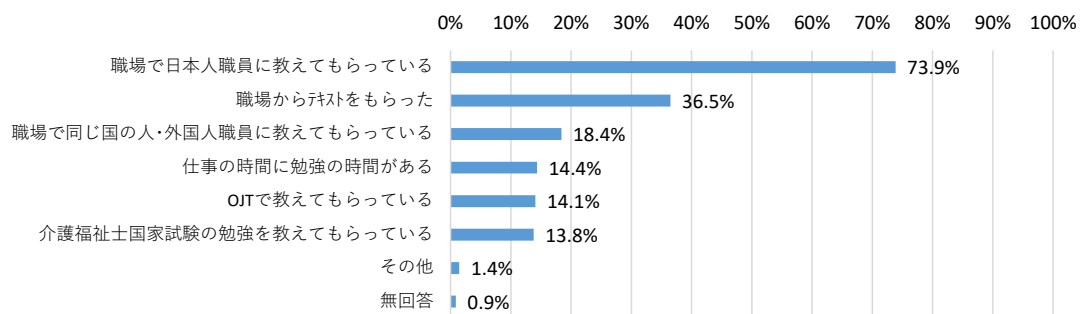
介護の勉強について、現在の職場（介護施設・事業所）からサポートを受けているかどうかを尋ねたところ、「サポートを受けている」が67.7%、「受けたいと思うが、受けることができていない」が23.2%、「サポートを受けたいと思わない」が8.6%だった。

また、「サポートを受けている」と回答した348人に対して、介護の勉強に関する現在の職場からのサポート内容を尋ねたところ、「職場で日本人職員に教えてもらっている」が73.9%と最も高く、次いで「職場からテキストをもらった」が36.5%だった。

図表 129 介護の勉強に関する現在の職場からのサポート (Q17) (単数回答、n=514)



図表 130 介護の勉強に関する現在の職場からのサポート内容 (Q17-1) (単数回答、n=348)



図表 131 日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート別

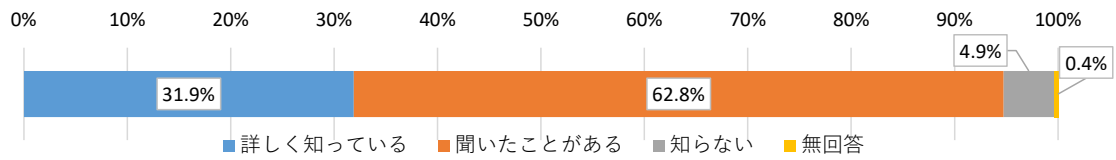
介護の勉強に関する現在の職場からのサポート内容 (Q17-1) (単数回答、n=348)

		Q17 介護の勉強について、職場からのサポート				
		サポートを受けている	受けたいと思うが、受けることができていない	サポートを受けたいと思わない	無回答	
全体		514 100.0%	348 67.7%	119 23.2%	44 8.6%	3 0.6%
Q15 日本語の勉強について、職場からのサポート	サポートを受けている	346 100.0%	298 86.1%	34 9.8%	12 3.5%	2 0.6%
	受けたいと思うが、受けることが	116 100.0%	31 26.7%	74 63.8%	11 9.5%	0 0.0%
	サポートを受けたいと思わない	48 100.0%	17 35.4%	10 20.8%	21 43.8%	0 0.0%

⑤ 介護福祉士国家資格の認知度 (Q18)

日本の介護福祉士国家資格の認知度については、「詳しく知っている」が 31.9%、「聞いたことがある」が 62.8%、「知らない」が 4.9%だった。

図表 132 介護福祉士国家資格の認知度 (Q18) (単数回答、n=514)



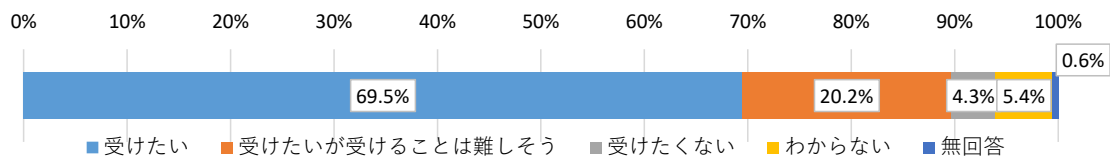
⑥ 介護福祉士国家資格取得に関する意向 (Q19、SQ19-1、SQ19-2)

日本の介護福祉士国家資格取得に関する意向については、「受りたい」が 69.5%、「受りたいが受けることは難しそう」が 20.2%、「受れたくない」が 4.3%、「わからない」が 5.4%だった。

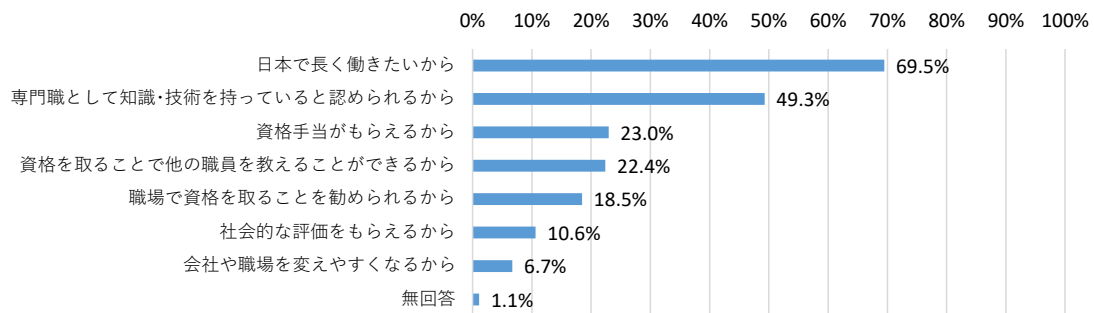
また、日本の介護福祉士国家資格を「受りたい」と回答した 357 人に、介護福祉士国家資格を取得したい理由を尋ねたところ、「日本で長く働きたいから」が 69.5%と最も高く、次いで「専門職として知識・技術を持っていると認められるから」が 49.3%だった。

「受りたいが、受けることはむずかしそう」と回答した 104 人に、介護福祉士国家資格を取得したいが難しそうだと考える理由を尋ねたところ、「日本語が難しいから」が 73.1%と最も高く、次いで「外国人には合格することが難しいから」が 54.8%だった。

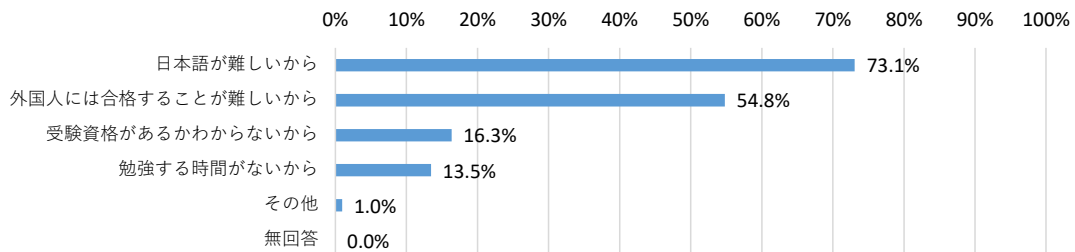
図表 133 介護福祉士国家資格取得に関する意向 (Q19) (単数回答、n=514)



図表 134 介護福祉士国家資格を取得したい理由 (Q19-1) (複数回答、n=357)



図表 135 介護福祉士国家資格を取得したいが難しそうだと考える理由 (Q19-2) (複数回答、n=104)

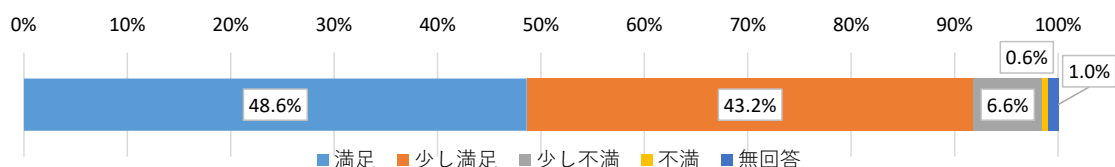


(4) 仕事の満足度等

① 介護の仕事の満足度 (Q20)

介護の仕事の満足度については、「満足」が 48.6%と最も高く、次いで「少し満足」が 43.2%だった。

図表 136 介護の仕事の満足度 (Q20) (単数回答、n=514)



図表 137 日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート別
介護の仕事の満足度 (Q20) (単数回答、n=514)

	合計	Q20 介護の仕事の満足度					
		満足	少し満足	少し不満	不満	無回答	
全体	514 100.0%	250 48.6%	222 43.2%	34 6.6%	3 0.6%	5 1.0%	
Q15 日本語の勉強について、職場からのサポート	サポートを受けている	346 100.0%	184 53.2%	146 42.2%	11 3.2%	1 0.3%	4 1.2%
	受けたいと思うが、受けることが	116 100.0%	48 41.4%	48 41.4%	18 15.5%	2 1.7%	0 0.0%
	サポートを受けたいと思わない	48 100.0%	16 33.3%	27 56.3%	5 10.4%	0 0.0%	0 0.0%

図表 138 介護の勉強に関する現在の職場からのサポート別
介護の仕事の満足度 (Q20) (単数回答、n=514)

	合計	Q20 介護の仕事の満足度					
		満足	少し満足	少し不満	不満	無回答	
全体	514 100.0%	250 48.6%	222 43.2%	34 6.6%	3 0.6%	5 1.0%	
Q17 介護の勉強について、職場からのサポート	サポートを受けている	348 100.0%	182 52.3%	146 42.0%	16 4.6%	1 0.3%	3 0.9%
	受けたいと思うが、受けることが	119 100.0%	48 40.3%	54 45.4%	14 11.8%	2 1.7%	1 0.8%
	サポートを受けたいと思わない	44 100.0%	19 43.2%	21 47.7%	4 9.1%	0 0.0%	0 0.0%

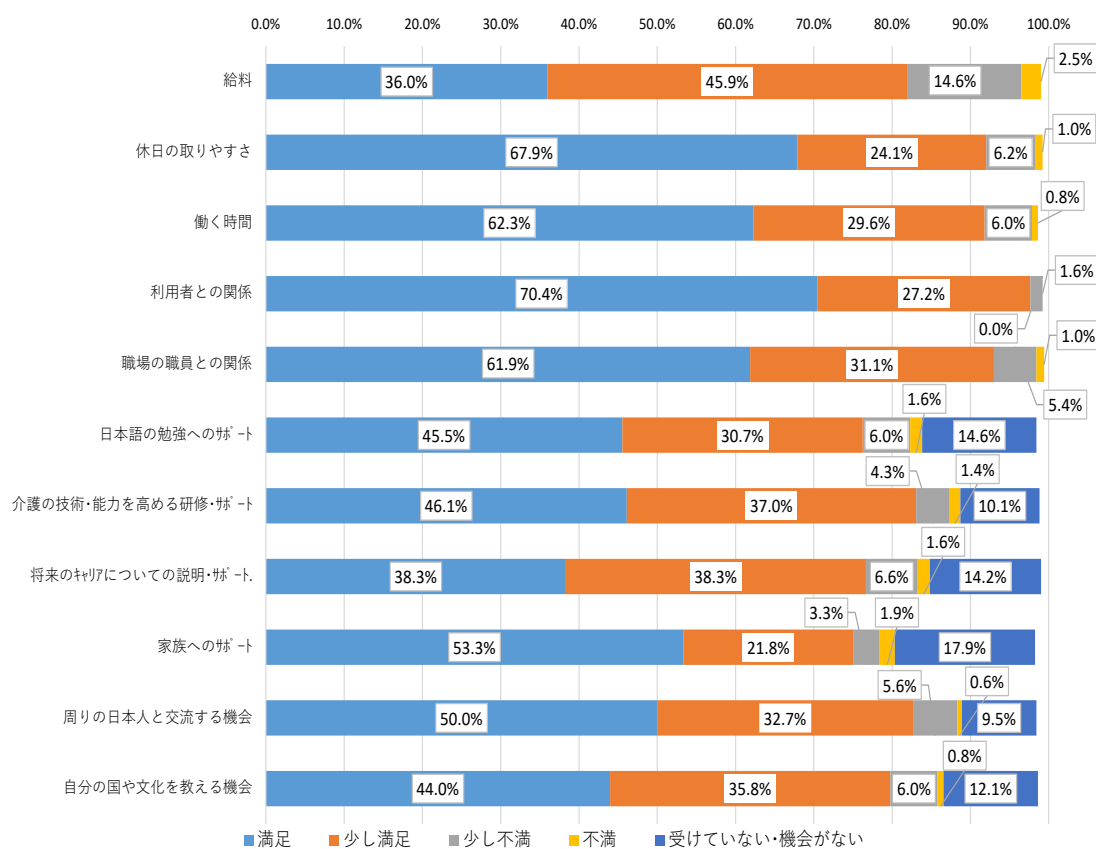
② 現在就労している施設・事業所の満足度（Q21）

現在就労している施設・事業所の満足度について尋ねたところ、休日のとりやすさでは 67.9%、働く時間では 62.3%、利用者との関係では 70.4%、職場の職員との関係では 61.9%、日本語の勉強へのサポートでは 45.5%、介護の技術・能力を高める研修・サポートでは 46.1%、家族へのサポートでは 53.3%、周りの日本人と交流する機会では 50.0%、自分の国や文化を教える機会では 44.0%が「満足」と回答しており、最も高かった。

給料は「少し満足」が 45.9%と最も高く、次いで「満足」が 36.0%だった。

将来のキャリアについての説明・サポートは、「満足」と「少し満足」がともに 38.3%と最も高かった。

図表 139 現在就労している施設・事業所の満足度（Q21）（各項目について単数回答、n=514）



図表 140 受け入れている外国人介護職員別

日本語の勉強へのサポートの満足度 (Q21) (n=514)

		合計	Q21-6 職場の満足度：日本語の勉強へのサポート					無回答
			満足	少し満足	少し不満	不満	受けていない・機会がない	
全体		514 100.0%	234 45.5%	158 30.7%	31 6.0%	8 1.6%	75 14.6%	8 1.6%
Q4-1 受け入れている特定技能外国人以外の外国人介護職員	EPAと技能実習生を受け入れている	33 100.0%	14 42.4%	7 21.2%	5 15.2%	1 3.0%	5 15.2%	1 3.0%
	EPAのみ受け入れている	73 100.0%	45 61.6%	22 30.1%	3 4.1%	0 0.0%	2 2.7%	1 1.4%
	技能実習生のみ受け入れている	117 100.0%	58 49.6%	33 28.2%	5 4.3%	0 0.0%	21 17.9%	0 0.0%
	上記以外の外国人職員	108 100.0%	47 43.5%	29 26.9%	9 8.3%	2 1.9%	18 16.7%	3 2.8%
	特定技能のみ	29 100.0%	12 41.4%	8 27.6%	1 3.4%	3 10.3%	4 13.8%	1 3.4%

図表 141 受け入れている外国人介護職員別

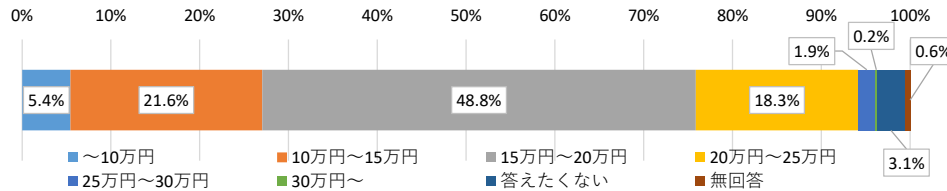
介護の技術・能力を高める研修・サポートの満足度 (Q21) (n=514)

		合計	Q21-7 職場の満足度：介護の技術・能力を高める研修・サポート					無回答
			満足	少し満足	少し不満	不満	受けていない・機会がない	
Q4-1 受け入れている特定技能外国人以外の外国人介護職員		33 100.0%	11 33.3%	9 27.3%	3 9.1%	2 6.1%	8 24.2%	0 0.0%
Q4-1 受け入れている特定技能外国人以外の外国人介護職員	EPAと技能実習生を受け入れている	73 100.0%	40 54.8%	26 35.6%	2 2.7%	0 0.0%	4 5.5%	1 1.4%
	EPAのみ受け入れている	117 100.0%	57 48.7%	46 39.3%	3 2.6%	0 0.0%	9 7.7%	2 1.7%
	技能実習生のみ受け入れている	108 100.0%	51 47.2%	39 36.1%	4 3.7%	1 0.9%	12 11.1%	1 0.9%
	上記以外の外国人職員	29 100.0%	13 44.8%	10 34.5%	1 3.4%	1 3.4%	3 10.3%	1 3.4%
	特定技能のみ							

③ 現在の1か月あたりの給料 (Q22)

現在の1か月あたりの給料 (税引き前) は、「15万円～20万円」が48.8%と最も高く、次いで「10万円～15万円」が21.6%だった。

図表 142 現在の1か月あたりの給料 (税引き前) (Q22) (単数回答、n=514)



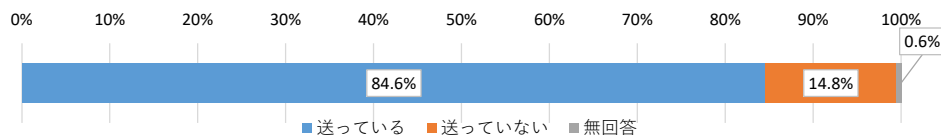
④ 家族などへの送金 (Q23)

家族などへの送金については、「送っている」が84.6%、「送っていない」が14.8%だった。

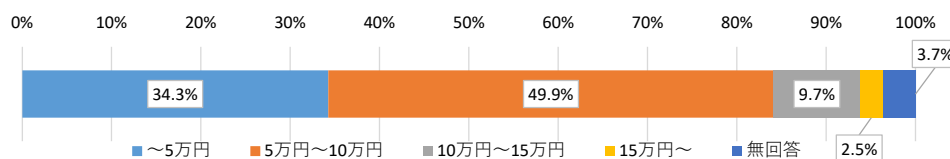
家族などへお金を「送っている」と回答した435人に対して、1か月あたりの送金金額を尋ねたところ、「5万円～10万円」が49.9%と最も高く、次いで「～5万円」が34.3%だった。

また、送金先を尋ねたところ、「親、親戚」が90.1%と最も高く、次いで「自分の夫・妻、子ども」が14.0%だった。

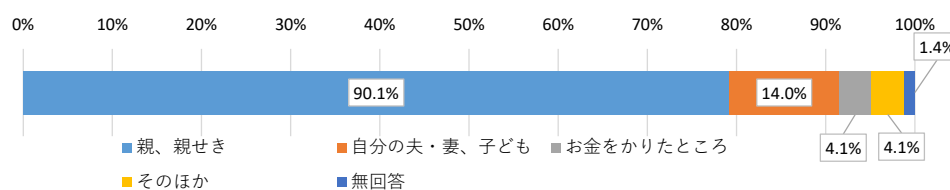
図表 143 家族などへの送金の有無 (Q23-1) (単数回答、n=514)



図表 144 1か月あたりの送金金額 (Q23-2) (単数回答、n=435)



図表 145 送金先 (Q23-3) (単数回答、n=435)



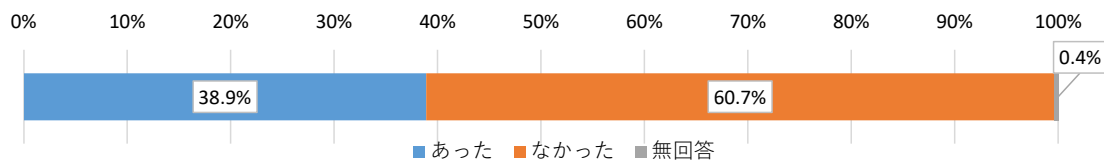
(5) 生活での困りごとや相談相手

① 最近1年間で日本で困ったこと (Q24、SQ24-1)

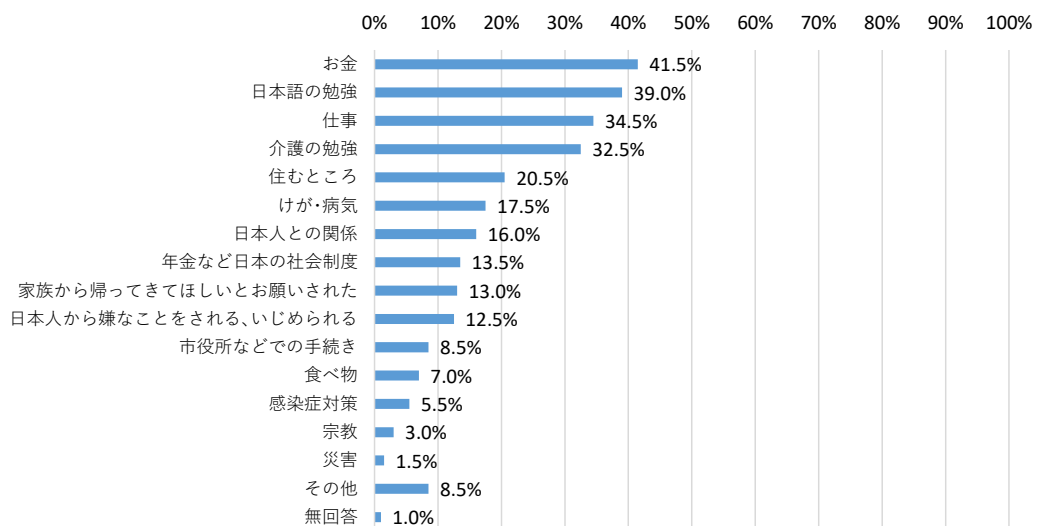
最近1年間、日本で困ったことの有無を尋ねたところ、「あった」が38.9%、「なかった」が60.7%だった。

また、最近1年間で困りごとが「あった」と回答した200人に対して、困りごとの内容を尋ねたところ、「お金」が41.5%と最も高く、次いで「日本語の勉強」が39.0%だった。

図表 146 最近1年間で日本で困ったことの有無 (Q24) (単数回答、n=514)



図表 147 困りごとの内容 (SQ24-1) (複数回答、n=200)

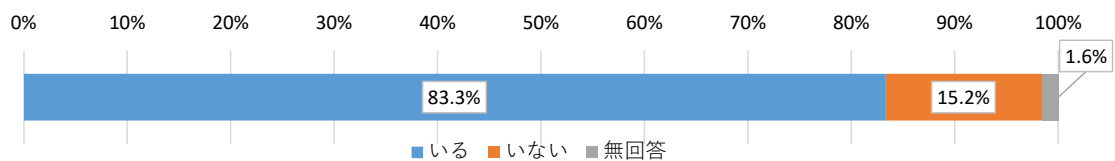


② 困りごとがあった時の相談相手 (Q25、SQ25-1)

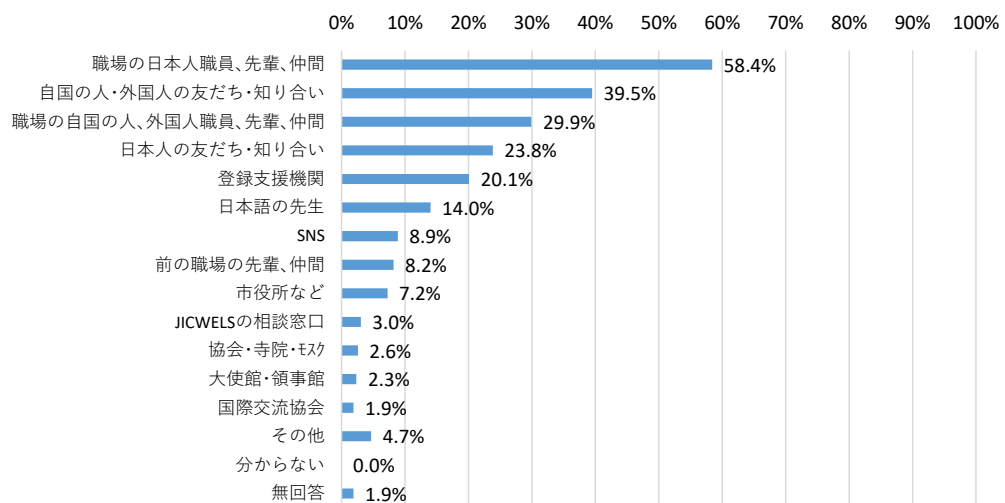
困りごとがあった時の相談相手の有無については、「いる」が 83.3%、「いない」が 15.2%だった。

また、相談相手が「いる」と回答した 428 人に、具体的な相談相手を尋ねたところ、「職場の日本人職員、先輩、仲間」が 58.4%と最も高く、次いで「自国の人・外国人の友だち・知り合い」が 39.5%だった。

図表 148 困りごとがあった時の相談相手の有無 (Q25) (単数回答、n=514)



図表 149 困りごとがあった時の相談相手 (SQ25-1) (複数回答、n=428)

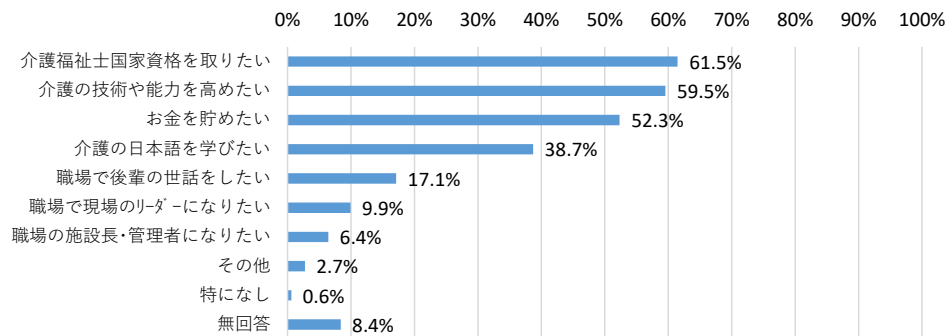


(6) 今後の目標や希望

① 今から5年間の目標 (Q26)

今から5年間の目標については、「介護福祉士国家資格を取りたい」が61.5%と最も高く、次いで「介護の技術や能力を高めたい」が59.5%だった。

図表 150 今から5年間の目標 (Q26) (複数回答、n=514)



② 今から5年後の希望 (Q27)

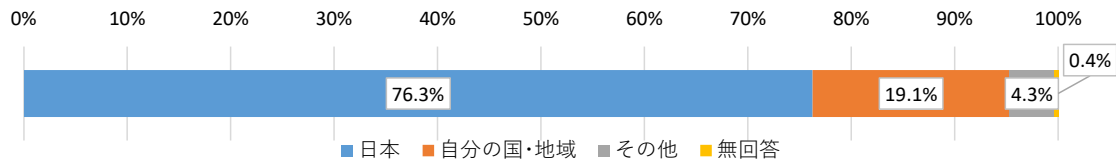
今から5年後の希望 (なりたい姿) を尋ねたところ、自分が住む場所については、「日本」が76.3%、「自分の国・地域」が19.1%だった。

仕事については、「介護の技術や能力を高めたい」が76.1%と最も高く、次いで「介護の日本語を教えたい」が24.5%だった。

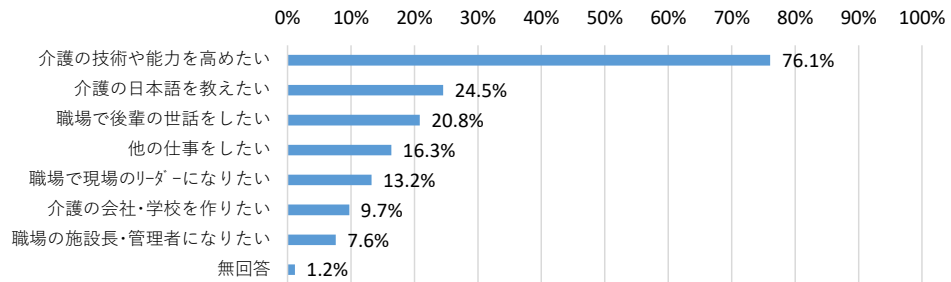
働く施設・事業所については、「今働いている職場でそのまま働きたい」が68.3%、「今働いている職場以外の施設で働きたい」が12.1%だった。

家族については、「自分の国にいる家族を呼んで一緒に住みたい」が58.6%と最も高く、次いで「自分の国で家族と一緒に生活したい」が27.4%だった。

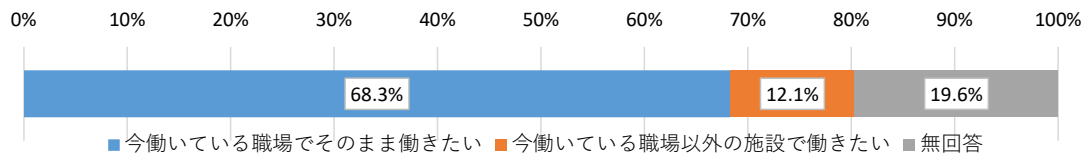
図表 151 今から 5 年後の希望（自分が住む場所）（Q27-1）（単数回答、n=514）



図表 152 今から 5 年後の希望（仕事）（Q27-2）（複数回答、n=514）



図表 153 今から 5 年後の希望（働く施設・事業所）（Q27-3）（単数回答、n=514）



図表 154 日本語の勉強に関する現在の職場からのサポート別

今から 5 年後の希望（働く施設・事業所）（Q27-3）（単数回答、n=514）

	合計	Q27-3 今から5年後:働く施設・事業所			
		今働いている職場でそのまま働きたい	今働いている職場以外の施設で働きたい	無回答	
全体	514 100.0%	351 68.3%	62 12.1%	101 19.6%	
Q15 日本語の勉強について、職場からのサポート	サポートを受けている	346 100.0%	247 71.4%	36 10.4%	63 18.2%
	受けたいと思うが、受けることが	116 100.0%	74 63.8%	19 16.4%	23 19.8%
	サポートを受けたい	48 100.0%	27 56.3%	7 14.6%	14 29.2%
	と思わない				

図表 155 介護の勉強に関する現在の職場からのサポート別

今から5年後の希望（働く施設・事業所）（Q27-3）（単数回答、n=514）

		合計	Q27-3 今から5年後:働く施設・事業所		
			今働いている職場でそのまま働きたい	今働いている職場以外の施設で働きたい	無回答
全体		514 100.0%	351 68.3%	62 12.1%	101 19.6%
Q17 介護の勉強について、職場からのサポート	サポートを受けている	348 100.0%	243 69.8%	36 10.3%	69 19.8%
	受けたいと思うが、受けることが	119 100.0%	83 69.7%	20 16.8%	16 13.4%
	サポートを受けたいと思わない	44 100.0%	22 50.0%	6 13.6%	16 36.4%

図表 156 今から5年後の希望（家族）（Q27-4）（複数回答、n=514）

